

令和元（2019）年度 中区区民意識調査 ご協力をお願い

皆さまには、日頃から中区政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

中区役所は、区民の皆さまの暮らしや区政への評価・要望を、より正確に把握し今後の区政運営に生かしていくために、おおむね2～3年ごとに区民意識調査を実施しています。

このたびの調査では、「中区地域福祉保健計画」の次期計画策定（令和2（2020）年）に向けて、皆さまの地域福祉施策に対するご意見を伺うほか、「多文化共生」、「防災」などについても幅広くお聞きし、行政サービスの向上につなげてまいります。

調査にあたりましては、区内に居住する18歳以上の方4,000名を無作為に抽出させていただき、ご協力をお願いしています。お答えいただいた内容はすべて統計的に処理し、個人が特定されることはございません。また、いただいた回答は本調査の目的にのみ活用させていただきます。

お忙しいところ恐縮ですが、ぜひご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和元（2019）年7月

中区長 竹前 大

＜ご記入にあたってのお願い＞

1. 封筒に記載されているあて名のご本人さまがお答えください。ご本人による記入が困難な場合は、ご家族の方などがご本人の考えをお聞きの上、代理でご記入ください。
2. 回答欄には、黒ボールペンや鉛筆などで、はっきりとご記入ください。
3. お答えは、あてはまる答えの番号を○で囲んでください。「その他」にあてはまる場合は、お手数ですが、[]内になるべく具体的にその内容をご記入ください。
4. 設問ごとに、「○は1つ」など答え方の指定や、お答えいただく方が限定される場合がありますので、お間違えのないようにお気をつけください。

誠に恐れ入りますが、ご記入いただきましたアンケート調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、**令和元（2019）年8月9日（金）まで**にご投函くださいますようお願いいたします。
(返信用封筒への切手の貼付及び差出人の記名は不要です。)

●当調査についてのご不明点やご質問は
下記までお問合せください。

横浜市中区役所 区政推進課、福祉保健課
TEL：045-224-8127
FAX：045-224-8214

問6 あなたのお住まいの形態をお知らせください。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 持ち家 (一戸建て) | 4 賃貸 (マンション等共同住宅) |
| 2 持ち家 (マンション等共同住宅) | 5 その他 [] |
| 3 賃貸 (一戸建て) | |

問7 あなたが中区に住むようになった理由をお知らせください。(○はいくつでも)

- | |
|--------------------------|
| 1 親の代から住んでいて、同居しているから |
| 2 親や兄弟姉妹、親戚などが近所に住んでいたから |
| 3 通勤や通学に便利だったから |
| 4 住環境が良いと思ったから |
| 5 その他 [] |

問8 これからも中区に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

- | | | |
|------------------|------------------|---------|
| 1 長く住み続けたい | 3 どちらかといえば引っ越したい | 5 わからない |
| 2 どちらかといえば住み続けたい | 4 早く引っ越したい | |

問9 あなたの就労・就学状況をお知らせください。(○は1つ)

- | | | |
|--------------------------|---------------|-------|
| 1 就労している (常勤・フルタイム) | 3 学生 | 5 その他 |
| 2 就労している (非常勤・パート・アルバイト) | 4 就労も就学もしていない | [] |

問10 あなたはどこに通勤・通学されていますか。(○は1つ)

- | | | |
|-----------------|--------|---------------|
| 1 中区内 | 4 東京都内 | 6 通勤・通学はしていない |
| 2 横浜市内の他の区 | 5 その他 | |
| 3 神奈川県横浜市以外の市町村 | [] | |

↓ 【問10で「1～5」に○をつけた方にお尋ねします。】

問11 職場・学校までの通勤・通学にかかる時間はどのくらいですか。(○は1つ)

- | | | |
|------------|----------------|---------|
| 1 15分未満 | 4 45分～1時間未満 | 7 2時間以上 |
| 2 15～30分未満 | 5 1時間～1時間30分未満 | |
| 3 30～45分未満 | 6 1時間30分～2時間未満 | |

【全員の方にお尋ねします】

問12 家事や仕事・学校、通勤・通学、睡眠などの時間を除き、あなたが自由に使える時間は、一日のうちどのくらいですか。* 仕事や学校に行かれている方は、行かれている日(休みの日以外)についてお答えください。(○は1つ)

- | | | | |
|---------|-----------|-----------|---------|
| 1 1時間未満 | 2 1～3時間未満 | 3 3～5時間未満 | 4 5時間以上 |
|---------|-----------|-----------|---------|

問13 知人や友人に誇れる中区の魅力は何ですか。(○は3つまで)

- | |
|--|
| 1 開港の歴史と異国情緒が感じられる街並み |
| 2 「三溪園」「赤レンガ倉庫」「馬車道」「元町」「中華街」などの横浜を代表する観光地 |
| 3 交通の利便性 |
| 4 大規模な公園緑地(「山下公園」「根岸森林公園」など) |
| 5 数多くの博物館・資料館などの文化施設(「横浜人形の家」「大佛次郎記念館」「横浜にぎわい座」など) |
| 6 住民が多国籍で国際色豊かなまち |
| 7 ふるさとを感じられる地域イベント |
| 8 中区に愛着を持つ住民が多いこと |
| 9 その他 [] |

2 「中区の行政サービス」について

問 14 以下の中区の行政サービスについて、あなたの「現在の満足度」と「将来の重要度」をお知らせください。
 (各項目について、満足度と重要度 ○はそれぞれ1つずつ)

記入例

項目	現在の満足度					将来の重要度				
	①満足	②やや満足	③どちらでもない	④やや不満	⑤不満	①重要	②やや重要	③どちらでもない	④あまり重要ではない	⑤重要ではない
a 主要・幹線道路の整備・安全性	1	②	3	4	5	1	2	③	4	5

項目ごとのあてはまる番号
1つずつに○をつけてください。

【以下よりお答えください】

項目	現在の満足度					将来の重要度				
	①満足	②やや満足	③どちらでもない	④やや不満	⑤不満	①重要	②やや重要	③どちらでもない	④あまり重要ではない	⑤重要ではない
a 主要・幹線道路の整備・安全性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
b 自宅周辺の生活道路の整備・安全性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
c 自転車が走りやすい道路の整備・安全性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
d 歩きやすい道路・歩道の整備・安全性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
e バス・電車による移動の利便性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
f 中心市街地の整備・景観・街の美化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
g 生活地域の整備・景観・街の美化	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
h 公園・広場の整備、遊具の安全性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
i 緑地の保全や緑化の推進	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
j 川や港とふれあえる環境の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

項 目		現在の満足度					将来の重要度				
		①満足	②やや満足	③どちらでもない	④やや不満	⑤不満	①重要	②やや重要	③どちらでもない	④あまり重要ではない	⑤重要ではない
k	市民菜園など農と親しめる施設の整備	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
l	日常の買い物の利便性	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
m	生活マナーの向上（ごみ出し、犬の散歩、路上駐輪、歩行喫煙、ポイ捨てなど）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
n	地域活動施設（地区センターやコミュニティハウス、地域ケアプラザなど）の整備や使いやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
o	スポーツ施設や屋外レクリエーション施設の整備や使いやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
p	市民活動・生涯学習のための支援・施設の整備や使いやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
q	高齢者が安心して暮らすための支援・施設の整備や使いやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
r	障害者が安心して暮らすための支援・施設の整備や使いやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
s	安心して子育てをするための支援・施設の整備や使いやすさ	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
t	子どもの教育・青少年の健全育成	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
u	経済的に困っている人への生活支援	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
v	病院・診療所や救急医療の充実	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
w	地震や火災などの災害対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
x	防犯対策	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
y	区役所サービス（窓口での対応、待ち時間、庁舎の使いやすさなど）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

3 「多文化共生」について

中区には約 17,000 人の外国人の方が居住しており、区民全体のおよそ 10 人に 1 人となっています。区では、国籍や民族などの異なる人々が互いに文化的違いを認め、理解しあい、ともに生きていく「多文化共生のまちづくり」を推進しています。

問 15 「多文化共生」という言葉を聞いたことがありますか。(○は1つ)

- | |
|---------------------------|
| 1 聞いたことがあります、意味も理解している |
| 2 聞いたことがあるが、意味はあまり理解していない |
| 3 聞いたことがない |

問 16 外国人の方が増えていくことについて、どう考えますか。A～G について、1または2、あてはまる方を1つずつお知らせください。(○はそれぞれ1つずつ)

項目	①そう思う	②そう思わない
A 自然な傾向である	1	2
B 多様化が進み望ましい	1	2
C まちの魅力向上につながる	1	2
D 若い世代が増え、まちが活性化する	1	2
E 治安が悪化する恐れがあるので、不安である	1	2
F 仕事が奪われる心配がある	1	2
G 生活のマナーやルールが守られなくなる	1	2

問 17 あなたは現在、外国人の方とどのような交流がありますか。(○はいくつでも)

- | | | |
|--------------------|-----------------|-----------|
| 1 家族、親戚がいる | 4 近所付き合いしている | 7 その他 [] |
| 2 友人、知り合いがいる | 5 趣味活動などで交流している | 8 付き合いがない |
| 3 自治会町内会などの活動をしている | 6 あいさつを交わしている | |

↓【問 17 で「8」に○をつけた方にお尋ねします。】

問 18 外国人との交流がないのはなぜですか。最も大きな理由を1つだけお知らせください。(○は1つ)

- | |
|-----------------------|
| 1 日本語のわからない外国人と話せないから |
| 2 外国人と付き合うのが苦手だから |
| 3 話しかけるきっかけがないから |
| 4 付き合う場がないから |
| 5 必要だと思わないから |
| 6 身近にいないから |
| 7 その他 [] |

【全員の方にお尋ねします】

問 19 今までに、近くに住む外国人との生活の中で戸惑った経験はありますか。内容はどのようなものですか。(○はいくつでも)

- | | | |
|----------------|-----------------|-----------|
| 1 ごみの出し方のこと | 5 駐車・駐輪のこと | 9 その他 [] |
| 2 部屋からの声・物音のこと | 6 店舗や宿泊施設の営業のこと | 10 特になし |
| 3 ペットのこと | 7 部屋の使い方のこと | |
| 4 食べ物のこと | 8 言葉の行き違い | |

問 20 日本人と外国人がともにより良く暮らしていくために、外国人の方に知ってほしいことは何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|--------------------------|----------------|
| 1 ごみの出し方 | 5 地域活動の実施・参加方法 |
| 2 駐車・駐輪の仕方 | 6 日本の風習・伝統文化 |
| 3 交通ルール (自転車・バイク・自動車等) | 7 その他 [] |
| 4 音や声の大きさの配慮 (隣近所、公共の場所) | 8 特にない、わからない |

問 21 日本人と外国人が同じ地域の中でともにより良く暮らしていくためには、何が重要だと思いますか。(○はいくつでも)

- | |
|----------------------|
| 1 そもそも違いがあることを認め合う |
| 2 相手に興味を持つ |
| 3 あいさつなどを積極的にする |
| 4 互いの国の文化や生活習慣を知り合う |
| 5 地域のルールを確認し、互いに教え合う |
| 6 差別的な意識を持たない |
| 7 互いの国の言葉を学ぶ |
| 8 町の看板などに外国語表記を増やす |
| 9 地域の活動に誘い合う |
| 10 その他 [] |
| 11 わからない |

問 22 地震などの災害が起こった時には、日本人・外国人を含む全ての地域住民が協力し合って対応することが求められます。区役所にどのような対策を望みますか。(○はいくつでも)

- | |
|--------------------------------|
| 1 避難場所の掲示等に外国語表記を併記する |
| 2 外国語の緊急対応パンフレットを配る |
| 3 緊急時に外国語の放送や誘導を行う |
| 4 SNSなどで多言語の情報を迅速に発信する |
| 5 外国語の相談を行う |
| 6 地域の防災訓練に外国人が参加しやすいようにする |
| 7 外国人を含め、地域の人同士の連絡・協力体制づくりを進める |
| 8 外国人同士の連絡・協力体制づくりを進める |
| 9 その他 [] |
| 10 特にない |

問 23 「多文化共生のまちづくり」を推進するために、中区はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。(○は3つまで)

- | |
|-------------------------------|
| 1 日本人と外国人の交流会やイベントを行う |
| 2 外国人に対して、日本の文化や生活情報を外国語で知らせる |
| 3 日本人に対して、外国の文化や生活情報を紹介する |
| 4 外国語での生活相談を充実させる |
| 5 日本語教室を充実させる |
| 6 日本人と外国人が意見を交換する場を設ける |
| 7 日本人と外国人による協働の機会を増やす |
| 8 その他 [] |
| 9 特にない |

問 24 「多文化共生のまちづくり」を推進するために、あなたが協力できることは何ですか。(〇は3つまで)

- 1 あいさつなど声を掛け合う
- 2 気軽に話をする
- 3 生活習慣やルールを相談し合う
- 4 地域の外国人との話し合いを行う
- 5 地域の外国人との交流やイベントに参加する
- 6 地域の外国人とともに避難訓練や清掃などの地域活動に参加する
- 7 外国人が自分の国の文化・ことば・料理などを紹介する講座に参加する
- 8 いろいろな言葉が話せるよう外国語を学ぶ
- 9 翻訳・通訳や日本語教室などのボランティア活動に参加する
- 10 日本の生活に慣れていない外国人支援 (NGO/NPO を含む) 活動への参加・協力
- 11 その他 []
- 12 特になし

4 地域福祉について

「中区地域福祉保健計画」(愛称「中なかいいネ!」)は、地域の人がお互いに支え合いながら、誰もが健康で安心して暮らしていけるようなまちづくりを目指して、中区に住む人・働く人・全ての人が協力しながら進める計画です。この中区地域福祉保健計画に基づき、「地域とのつながり」や「地域での助け合い」と「健康づくり」を進める地域活動を進めています。

問 25 あなたは、この1か月間のご自身の健康状態をどう感じていますか。(〇は1つ)

- 1 健康である
- 2 どちらかという健康である
- 3 どちらかという健康ではない
- 4 健康ではない

問 26 あなたは、隣近所と普段どのような付き合いをしていますか。(〇は1つ)

- 1 顔もよく知らない
- 2 道で会えばあいさつぐらいする
- 3 たまに立ち話をする
- 4 一緒に買い物に行ったり、気のあった人と親しくしている
- 5 困ったとき、相談したり助け合ったりする

問 27 あなたは、隣近所との付き合いをどのように感じていますか。(〇は1つ)

- 1 互いに干渉しあわず、さばさばしていて暮らしやすい
- 2 人間関係が薄く、みながばらばらな感じでさびしい
- 3 親密な人間関係があって、暮らしやすい
- 4 人間関係が濃密で、わずらわしい

問 28 次の A～J の地域活動について、あなたは参加したことがありますか。

A～J のそれぞれについて、1～3 の中からあてはまるものを1つずつお知らせください。(○はそれぞれ1つずつ)

	①参加したことがある	②参加したことはないが、興味がある	③参加したことはないし、興味もない
A 健康づくりに関すること	1	2	3
B 趣味・教養・スポーツなどのサークル	1	2	3
C お祭りや運動会などのイベント	1	2	3
D 防犯・防災・交通安全などの活動	1	2	3
E 趣味や特技を活かしたお手伝い	1	2	3
F ごみ拾い・花の手入れなどの清掃・美化活動	1	2	3
G 高齢者支援に関すること (ボランティアグループなど)	1	2	3
H 障害児者支援に関すること (自主訓練会、余暇支援など)	1	2	3
I 子育て支援に関すること (子育てサロンなど)	1	2	3
J その他ボランティア活動	1	2	3

問 29 あなたの今後の地域活動に関する考えで、最も近いものをお知らせください。(○は1つ)

- | |
|--|
| 1 中心となって活動を運営したい
2 活動している人のお手伝いをしたい
3 活動の運営には関わりたくないがイベントなどには参加はしたい
4 関わりたいが今は活動できない
5 関わりたくない |
|--|

問 30 どのような条件であれば、あなたは地域活動に参加しやすいと思いますか。次の中から特にあてはまるものを3つまでお知らせください。(○は3つまで)

- | |
|---|
| 1 家族・友人など知っている人と参加できる
2 気軽に参加できる活動がある
3 活動場所が近くにある
4 活動する曜日や時間が自分の都合にあっている
5 活動内容や開催日時・場所が掲示板などであらかじめわかっている
6 子どもや高齢者などで配慮が必要な場合でも、一緒に参加して受け入れてもらえる
7 費用がかからない
8 やりがいがある
9 活動について相談する場所がある
10 その他 []
11 どのような条件でも参加したくない |
|---|

問 31 次の中で、あなたが区民の生活になくてはならないと思う地域活動をすべてお知らせください。(○はいくつでも)

- | |
|---|
| 1 防災活動 (防災用品の備蓄、防災訓練の実施など)
2 防犯活動 (防犯パトロール、登下校時の子どもの見守り、街灯の設置など)
3 まちの美化 (地域の清掃活動、ごみ置き場の管理など)
4 広報活動 (回覧板・掲示板での情報提供など)
5 福祉活動 (健康サロン、子育てサロンの開催、ひとり暮らし高齢者の見守りなど)
6 地域の交流 (運動会やもちつき大会などの開催など)
7 この中にはない |
|---|

問 32 問 31 に挙げた地域活動の情報を何から入手できると良いと思いますか。あてはまるものをすべてお知らせください。
(○はいくつでも)

- | | | | |
|-------|----------|--------------|-----------|
| 1 掲示板 | 3 ホームページ | 5 チラシ (各戸配布) | 7 その他 [] |
| 2 回覧板 | 4 SNS | 6 知人から | 8 わからない |

問 33 隣近所の困っている方に対して、あなたはどのような手助けができると思いますか。あてはまるものをすべてお知らせください。(○はいくつでも)

- | |
|-------------------------------------|
| 1 話し相手・相談相手になる |
| 2 話を聞いて、別居の家族と連絡をとる |
| 3 話を聞いて、民生委員や行政に連絡する |
| 4 ごみ出し、買い物、草むしりなどの家の外の手伝い |
| 5 掃除、洗濯、食事作り、電球の交換などの家の中の手伝い |
| 6 小学生の登下校の見守り |
| 7 短時間の子どもの預かり |
| 8 障害児者の外出の手助け |
| 9 高齢者の通院や買い物の送迎・付き添い |
| 10 子どもの学習支援 |
| 11 「食」を介して地域で集い、交流する場 (子ども食堂、食事会など) |
| 12 高齢者や障害児者への安否確認 (無事かどうか) の声かけ |
| 13 災害時の安否確認や避難の手助け |
| 14 その他 [] |
| 15 特にない |

問 34 お住まいの地域がもっと住みやすくなるために、特に必要だと考える取組はどれですか。あてはまるものを3つまでお知らせください。(○は3つまで)

- | |
|-----------------------------|
| 1 地域活動に参加する住民を増やす |
| 2 地域での活動を担う住民を増やす |
| 3 地域活動をしている人同士のつながりを作る |
| 4 人と人とのつながりを作るため、交流する機会を増やす |
| 5 年齢や健康状態に関係なく、参加できる場を作る |
| 6 健康寿命を延ばすための活動を作る |
| 7 支援が必要な方に早く気づくことができる体制を作る |
| 8 身近な場所で相談が受けられる環境を作る |
| 9 災害に備えて近隣で助け合うしくみを作る |
| 10 その他 [] |
| 11 特にない |

問 35 次の①～⑭について、(A)あなたご自身が不安に感じていること (B)あなたのご家族のことで不安に感じていること (C)あなたのご近所の人のことで不安に感じていること をそれぞれいくつでもお知らせください。(○はそれぞれいくつでも)

	(A) 自分自身が不安 に感じている	(B) ご家族のことで 不安に感じてい る	(C) 近所の人のこと で不安に感じて いる
①家事（食事の準備・掃除など）	1	1	1
②買物や通院等外出	2	2	2
③不健康な生活	3	3	3
④孤食（1人での食事）	4	4	4
⑤運動不足	5	5	5
⑥身体の健康（病気や障害など）	6	6	6
⑦経済状況	7	7	7
⑧介護	8	8	8
⑨子育て	9	9	9
⑩認知症	10	10	10
⑪高齢者の一人暮らし	11	11	11
⑫孤独	12	12	12
⑬労働時間	13	13	13
⑭その他〔 〕	14	14	14
⑮この中にはない	15	15	15

5 「自治会町内会」「ごみ・資源回収」について

自治会町内会は地域の住民によって組織され、まちの清掃活動や防犯・防火活動、お祭りや運動会などのイベント活動を行っているほか、町内掲示板の管理や行政からの情報伝達などに協力していただくなど、地域の絆の基礎となっています。

問 36 あなたは自治会町内会に加入していますか。また、自治会町内会の活動や、地域で行われているイベントなどに参加したことがありますか。(○は1つ)

- | |
|---------------------------------|
| 1 加入しており、役員などの経験がある |
| 2 加入しており、活動やイベントなどに参加したことがある |
| 3 加入しているが、活動やイベントなどには参加したことがない |
| 4 加入していないが、活動やイベントなどには参加したことがある |
| 5 加入しておらず、活動やイベントなどに参加したことがない |

↓【問 36 で「4～5」に○をつけた方にお尋ねします。】

問 37 あなたが自治会町内会に加入していない理由は何ですか。特にあてはまるものを3つまでお知らせください。(○は3つまで)

- | | | |
|----------------------|---------------------|---------------|
| 1 加入するきっかけがない | 5 活動内容がわからない | 9 同世代の参加者が少ない |
| 2 時間がない | 6 加入するメリットがない | 10 その他 |
| 3 会費などを支払わなければならない | 7 家族や友人、知り合いが入っていない | [] |
| 4 管理組合があるから加入する必要がない | 8 活動に参加できない | |

問 38 あなたが利用しているごみ集積所について、困った問題は何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 ごみ集積所が汚い
- 2 ごみと資源物の分別をせずに出す人がある
- 3 ごみなどを出す曜日や時間を守らない人がある
- 4 他の地域からごみが持ち込まれる
- 5 粗大ごみが集積所に投棄される
- 6 カラスやネズミなどに荒らされる
- 7 その他 []
- 8 特に問題は生じていない

6 防災について

近年、各地で大規模な地震や風水害による被害が発生し、中区でも、日頃の備えである「自助」、地域の助け合いによる「共助」の取組を進めています。また、災害発生時に対応できるよう、区民の皆さまとともに様々な防災訓練や防災啓発に取り組んでいます。

問 39 災害の被害を最小限に抑えるために、あなたはどのようなことをしていますか。(〇はいくつでも)

- 1 災害発生時の家族の集合場所を決めている
- 2 消火器を備えている
- 3 消火器の使用期限を確認している
- 4 非常持ち出しの備えをしている
- 5 3日分の飲料水や食料を確保している
- 6 家庭内の家具を転倒防止金具などで固定している
- 7 家族で防災について話し合っている
- 8 避難場所などを把握している
- 9 その他 []
- 10 特に何もしていない

問 40 あなたが災害発生に対して不安に感じていることは何ですか。特にあてはまるものを3つまでお知らせください。(〇は3つまで)

- 1 自身または家族が高齢のため速やかに避難できるか不安だ
- 2 子どもがいるため速やかに避難できるか不安だ
- 3 自身または家族に障害があるため速やかに避難できるか不安だ
- 4 家族の安否確認がとれるか不安だ
- 5 的確な情報を入手できるか不安だ
- 6 家にいた方が良いのか避難所に向かうのかの判断に迷う
- 7 避難所での生活が不安だ
- 8 避難後、元の生活に戻れるのか不安だ
- 9 その他 []
- 10 特にない

問 41 あなたが災害時に地域のためにできることは何ですか。(〇はいくつでも)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1 安否確認 | 5 炊出し | 9 子守り |
| 2 初期消火 | 6 拠点運営の手伝い | 10 ペットの世話 |
| 3 救助の手伝い | 7 応急手当 | 11 その他 [] |
| 4 救援物資の区分け | 8 付き添い・介護 | 12 特にない |

問 42 あなたはお住まいの地域の避難場所・避難所を知っていますか。次の中から知っているものをすべてお知らせください。(○はい/×でも)

- 1 いっとき避難場所 ※1
- 2 地域防災拠点 ※2
- 3 広域避難場所 ※3
- 4 津波避難施設
- 5 知らない

※1 いっとき避難場所

地震発生後、周囲の様子を見たり、次の避難場所（地域防災拠点、広域避難場所）に移動したりするために、地域住民が一時的に集まる場所です。場所の選定は自治会町内会が行っています。

※2 地域防災拠点

震災により家が倒壊したり、倒壊の危険があったりする場合に、一時的に避難生活を送る場所で、食糧・水・救援物資などの配布や生活情報の提供、家族の安否確認を行う場所としての役割も担っており、中区では地域別に15か所の小・中学校等を指定しています。

※3 広域避難場所

大地震により発生した火災が多発し、延焼拡大した場合に、煙や熱から身を守るために避難する場所です。中区では5か所を広域避難場所として指定しています。

問 43 中区では、自治会町内会や地域防災拠点で行われる防災訓練、市役所・区役所が実施する防災減災説明会や訓練など様々な活動を実施しています。あなたは参加したことがありますか。(○は1つ)

- 1 参加したことがある
- 2 参加したことはない

↓【問43で「2」に○をつけた方にお尋ねします。】

問 44 参加していない理由は何ですか。最も大きな理由を1つだけお知らせください。(○は1つ)

- 1 時間がない
- 2 興味がない
- 3 一人で参加しづらい
- 4 必要性を感じない
- 5 実施していることを知らない
- 6 その他 []

【全員の方にお尋ねします】

問 45 訓練、啓発等の参加者を増やすためにどのような工夫が必要だと思いますか。(○はい/×でも)

- 1 子育て世代など若い世代に向けて内容の訓練を充実させる
- 2 より様々な媒体（メディア）を用いて訓練、啓発などの案内を行う
- 3 小学生・中学生など、地域の新たな担い手となる年齢層の育成につながる内容とする
- 4 シナリオ形式で災害シミュレーションをしながら、防災知識を学ぶ内容とする
- 5 祭りなどの他のイベントに併せて開催する
- 6 ゲーム性や競技性を盛り込んだ内容とする
- 7 その他 []
- 8 わからない

7 「行政情報」について

横浜市では、行政からのお知らせや暮らしの情報を正確にわかりやすく伝えるため、テレビやインターネット、広報紙など様々な形で発信しています。中区役所では、「広報よこはま中区版」やホームページのほか、外国人の方向けに、「Naka Ward Town News（英文広報）」や「春夏秋冬（中文広報）」での発信を行っています。

問 46 あなたは現在、どのような方法で横浜市や中区の行政情報や地域情報を入手していますか。（〇はいくつでも）

- | | |
|-----------------------------|---------------------------|
| 1 広報よこはま中区版 | 11 市が提供しているラジオ番組 |
| 2 Naka Ward Town News（英文広報） | 12 テレビ |
| 3 春夏秋冬（中文広報） | 13 ラジオ |
| 4 中区のホームページ | 14 インターネット（市・区のホームページを除く） |
| 5 横浜市のホームページ | 15 新聞 |
| 6 回覧板、自治会町内会の掲示板、ポスター | 16 市や区が発行したその他の印刷物 |
| 7 市や区のSNS | 17 タウン情報誌 |
| 8 市や区のメールマガジン | 18 ロコミ |
| 9 季刊誌「横濱」 | 19 その他〔 |
| 10 市が提供しているテレビ番組 | 20 情報を得ていない |

問 47 中区役所が発行している「広報よこはま中区版」、「Naka Ward Town News（英文広報）」、「春夏秋冬（中文広報）」や中区のホームページで、今後どのような内容を充実して欲しいですか。（〇はいくつでも）

- | | |
|---------------|-------------------------|
| 1 区内のイベント情報 | 8 健康づくりに関する情報 |
| 2 マナー啓発 | 9 子育てに関する情報 |
| 3 地域活動の情報 | 10 区民利用施設に関する情報 |
| 4 防犯・防災の情報 | 11 インフルエンザ対策など季節ごとの健康情報 |
| 5 害虫駆除に関する情報 | 12 まちのおすすめ情報などの地域情報 |
| 6 ボランティアの情報 | 13 その他〔 |
| 7 高齢・障害者福祉の情報 | |

8 自由意見欄

問 48 今後、中区をより魅力ある暮らしやすいまちにしていくためのご意見を、ご自由にお書きください。

<hr/> <hr/> <hr/>

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。